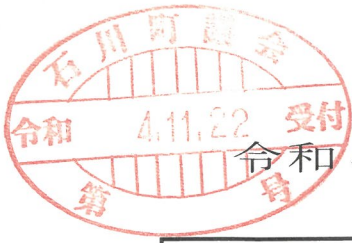


一般質問通告一覧表
(令和4年12月定例会)

通告番号	氏名
通告1番	菊池美知男
通告2番	根本 重泰
通告3番	下山田和雄
通告4番	乾 初美
通告5番	渡辺 実
通告6番	瀬谷 京子
通告7番	瀬谷 寿一
通告8番	小木 芳郎
通告9番	関根 信次



令和4年第5回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 1 番

令和4年11月22日 午前10時25分 受付

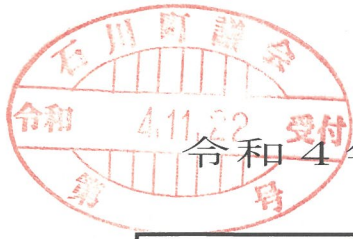
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年11月22日

質問者 3 番議員 菊池 美知男

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 高齢者福祉について	<p>健康でできるだけ介護を受けず、自立した生活を営むことを誰しもが等しく望んでいる。</p> <p>人生百年時代を迎え、また、日本が超高齢化社会になると言われる、2025年問題がすぐそこに近づいていることを踏まえ、本町における今後の高齢者福祉の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) いつまでも、自分の家に住み続ける生活環境を構築するための町の支援について</p> <p>(2) 介護予防（サロン）や公的介護の充実について</p> <p>(3) 独居老人や高齢者世帯への支援について</p>	町長 保健福祉課長
2. 新型コロナウイルス感染症等への対応について	<p>コロナ感染者の全数把握の見直しにより、本町では、感染者数等が明確に分からない状況にある。そうした状況下において、感染を疑われる方への対応等について、また、コロナ渦等に伴う経済支援策などについて伺う。</p> <p>(1) 無症状者や濃厚接触者の検査等の対応について</p> <p>(2) 交通弱者が検査を受ける場合の対応について</p> <p>(3) コロナ禍、さらには物価高等に伴う経済支援策について</p> <p>(4) 経済支援を行うにあたっての、窓口体制の明確化について</p>	町長 保健福祉課長 所管課長
3. 廃棄物の処分について	<p>庭木の手入れや家庭菜園等から発生する廃棄物の排出方法等について、町民は十分に理解しているであろうか。また、野焼きについては、火災発生の危険性や環境汚染などが懸念されているところである。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 庭木の手入れや家庭菜園に伴い発生する廃棄物の処分方法について</p> <p>(2) 禁止とされている野焼きの例外事項について</p>	町長 防災環境課長



令和4年第5回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 2 番	令和4年11月22日 午前11時12分 受付	
<p>次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。</p> <p>令和4年11月22日</p> <p>質問者 4 番議員 根本 重泰</p> <p>石川町議会議長 草野 伝明 殿</p>		
件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 道の駅建設を進めるうえでの疑問点について	<p>道の駅建設は、「赤字体質に陥り負の遺産にならないか。また、建設費がかさみ町の財政を圧迫する。」という話も聞かれる。一方、「石川町の地域振興策として期待している。このままでは、経済も人口も縮小していくばかりだ。」という話も聞かれる。</p> <p>今定例会の補正予算で、道の駅整備に関わる予算が提出される。あらためて、事業の目的・仕組み作り・予算について整理しながら、町執行部の考えを伺う。</p> <p>(1) 直売所でよいという考えもあるが、道の駅建設を選ぶ理由について</p> <p>(2) 町直営ではなく、公設民営により専門業者に運営を任せる理由について</p> <p>(3) 地域振興として石川町の事業者、個人が関われる仕組み作りについて</p> <p>(4) 施設、特産品など道の駅の利用者を呼び込む手法について</p> <p>(5) 建設規模、土地取得費、移転補償費、建設費が、当初の計画・概算予算と変わった部分がある。その理由と根拠について</p>	町長 農政課長

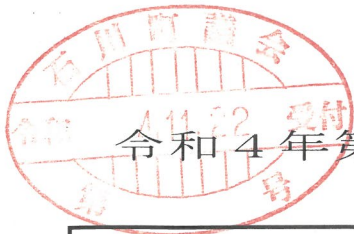
<p>2. 観光物産協会の法人化について</p>	<p>塩田町長が掲げる三つの力の中に「情報を発信する力」がある。</p> <p>事業が成功するか、人が集まるかどうか、興味を持ってもらえるかは、相手に情報を伝えられるかがポイントである。石川町でも歴史民俗資料館・認定こども園・道の駅・モトガッコなどあらゆる場面で魅力的な情報発信ができるプロ集団が必要と考える。</p> <p>先の質問で、「令和5年度春に観光物産協会を法人化する」との答弁があった。進捗状況と法人化することの重要性の認識について伺う。</p> <p>(1) 法人設立までのロードマップについて (2) 法人の形態、規模、業務について (3) 法人の活動に期待することについて</p>	<p>町長 企画商工課長 農政課長 生涯学習課長</p>
--------------------------	---	---



令和4年第5回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 3 番		令和4年 11月22日 午前11時40分 受付
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。 令和4年11月22日 質問者 8 番議員 下山田和雄 石川町議会議長 草野 伝明 殿		
件名	質問の要旨	答弁を求める者
1. 災害に強いまちづくりについて	<p>近年の自然災害は、その規模・頻度ともに増しており、我々の想像を超える災害が国内外を問わず発生している。</p> <p>本町においては、千五沢ダムや河川の改修が進められているが、災害対策においては「これでいい」ということはなく、しっかりとした不断の対策を行いながら、町の最優先課題として、災害に強いまちづくりを進める必要がある。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 県管理河川の堤防嵩上げ対策を進めるにあたっての県と町の連携について</p> <p>(2) 県管理河川の河道掘削や堆砂除去の実施状況と今後の計画について</p> <p>(3) 渡里沢川、金田川、堀田川と河川合流点の改良について</p> <p>(4) 災害対策のための河川に張り出した樹木の伐採について</p>	町長 都市建設課長
2. 中心市街地の再生について	<p>台風19号の豪雨被害により、浸水区域では家屋解体に伴う空き地が増加し、中心市街地の活力低下が一層進んでいる。</p> <p>一方、石川バイパスの整備など、本町を取り巻く様々な環境変化があることから、これを踏まえながら、中心市街地再生に向けた取り組みを進める必要があると考える。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 中心市街地の現状認識について</p> <p>(2) 中心市街地の空き地・空き家の活用方策について</p> <p>(3) 環境変化を踏まえた上での、中心市街地再生計画について</p>	町長 企画商工課長

<p>3. 総合運動公園等の整備について</p>	<p>本町は、従前からスポーツが盛んであり、小学生から高齢者まで、様々なスポーツに取り組んでいるが、本町には、公式競技場がないため、中学生、高校生などは、設備が整った近隣市町村に出向き、練習や試合を行っている現状がある。</p> <p>そこで、石川町総合運動公園については、計画された施設がまだ整備されていない状況があることから、次の点について伺う。</p> <p>(1) 総合運動公園等の今後の整備について</p>	<p>町長 教育長 都市建設課長 教育課長</p>
--------------------------	--	---------------------------------------



令和4年第5回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 4 番

令和4年11月22日 午後11時50分 受付

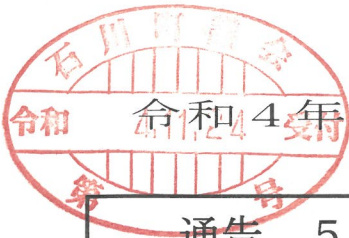
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年11月22日

質問者 1 番議員 乾 初美

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 町立認定こども園基本計画について	<p>町立認定こども園基本計画案が示されたが、施設規模や定員の設定方法に課題があると考えます。</p> <p>また、民間施設との協議や連携についても十分であるとはいえない。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 施設規模、定員、職員数の設定は適正か</p> <p>(2) 町内民間保育施設の活用と連携や機能共有、役割分担について</p> <p>(3) 町立認定こども園の運営を適正に進めるための第三者委員会等外部組織の設置について</p>	町長 教育長 教育課長



令和4年第5回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 5 番

令和4年11月24日 午前9時00分 受付

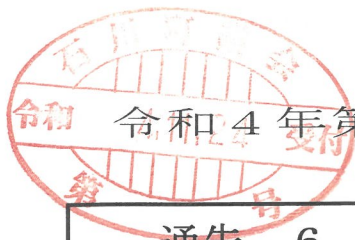
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年11月24日

質問者 9 番議員 渡辺 実

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 令和5年度の重点課題について	<p>令和5年度は、塩田町長2期目の初年度、今後4年間のスタートの年度であり、4年間の町づくりの方向性が示される年と考える。</p> <p>塩田町政の方向性を町民に、明確に示し、町民と共に町づくりを進めるべきと考える。</p> <p>そこで次のことについて伺う。</p> <p>(1) 町づくりを進める上での重点課題について</p> <p>(2) 人口減少対策及び若者定住政策について</p> <p>(3) 企業誘致の推進について</p> <p>(4) まちなか再生に向けた施策について</p>	町長 企画商工課長
2. 石川バイパスを生かす町づくりについて	<p>石川バイパスは平成16年度事業着工し、トンネルも開通し、完成間近となっている。</p> <p>交通の利便性と共に、バイパスの開通により、車や人の流れが大きく変化する中で、町づくりに活用し、町の振興に寄与させていくことが重要と考える。</p> <p>そこで次のことについて伺う。</p> <p>(1) バイパスの完成、開通予定について</p> <p>(2) バイパスを生かした町づくりについて</p> <p>(3) 連結道路及び周辺開発整備の考えについて</p>	町長 都市建設課長 企画商工課長
3. 老老介護、認知介護者への支援について	<p>高齢化の進行により、家庭における老老介護や認知症患者が認知症患者を介護する認知介護が増えつつあり、今後、さらに一層増加することが予想される。</p> <p>老老介護や認知介護は自宅で生活ができ、高齢者にとって、大事なこととであるが、同時に多くの困難さも予想され、支援が必要になってくる。</p> <p>そこで次のことについて伺う。</p> <p>(1) 老老介護者、認知介護者の実態について</p> <p>(2) 現在の支援状況について</p> <p>(3) 今後、必要な支援対策について</p>	町長 保健福祉課長



令和4年第5回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 6 番

令和4年11月24日 午前10時23分 受付

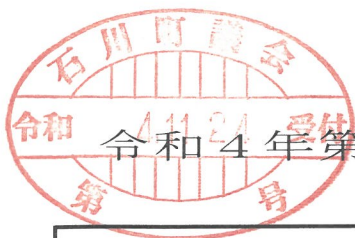
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年11月24日

質問者 10 番議員 瀬谷 京子

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件名	質問の要旨	答弁を求める者
1. 定住促進を図る住宅政策について	<p>本町は人口減少対策の一環として、若者の定住促進や町外からの移住促進をはじめ定住人口維持を掲げている。</p> <p>現在、町営住宅は老朽化が進み、廃止、解体が増加している。また、台風被害による家屋の解体も顕著である。</p> <p>一方、民間事業者による宅地開発、住宅開発は拡大している。</p> <p>このような状況を踏まえ、定住促進を図る住宅政策をどう進めるか伺う。</p> <p>(1) 旧雇用促進住宅跡地は、取得後10年間は若者子育て世帯向け公的賃貸住宅とする等々条件が付されている。令和3年度中に方針を決定するとのことだったが、現状について</p> <p>(2) 今後の町営住宅整備の考え方について</p> <p>(3) 「石川町住まいづくりプラン」は平成27年～10年間の住宅政策を計画的に推進するため策定され残り2年である、実績と評価について</p> <p>(4) 同プランの令和7年以降の計画策定について</p>	町長 企画商工課長 都市建設課長
2. 今後の母畑レークサイドセンターの考え方について	<p>利用者が年々減少し、屋内プールやバンガロー等を解体し、施設のスリム化を図りながら運営してきた母畑レークサイドセンターであるが、運営の改善に至らず、有効な手法を見出すことができないとされている。</p> <p>そこで次について伺う。</p> <p>(1) 周辺施設の今後のビジョンと運営方法の見直しについて</p> <p>(2) サウンディング型市場調査による活用方法の検討結果について</p>	町長 企画商工課長



令和4年第5回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 7 番

令和4年11月24日 午前 11時 5分 受付

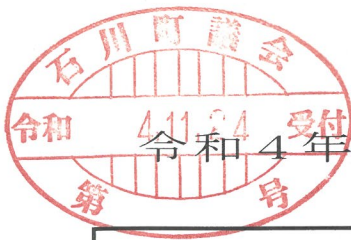
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年11月24日

質問者 5 番議員 瀬谷 寿一

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 町立認定子ども園基本計画策定にあたっての民間幼児教育、保育施設との調整について	<p>現在、町立認定子ども園基本計画が進められているが、本町の官民共存の保育、幼児教育施設のあり方に不安が生じている。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 民間保育施設、幼児教育施設とのこれまでの官民共存経過を踏まえた町立子ども園基本計画になっているか</p>	教育長 教育課長
2. 本町の観光・交流・移住施策の推進について	<p>東日本大震災以降、更にはコロナ感染拡大により、本町の観光・交流人口は減少傾向にある。しかし、近年の傾向として、若者を含め地方への移住に関心が高まっていることも新たな傾向である。</p> <p>また、町内二つの高校に通学する生徒は、本町関係人口の維持に、大きく寄与している。</p> <p>そこで、大都市住民等から第2のふるさととして選んでもらえる町になるため、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本町の宿泊能力を活かしたスポーツ、芸術分野の合宿受け入れの取り組みについて</p> <p>(2) 本町出身の名工小松寅吉、小林和平の作品を観光資源として積極的に活用することについて</p> <p>(3) 創立130年、卒業生2万7千人の学法石川高校、創立100年、卒業生1万5千人の県立石川高校への積極支援について</p> <p>(4) 東京石川会、石川町ファンクラブ、ふるさと納税、防災交流都市荒川区等の首都圏交流の現状について</p> <p>(5) これまでの観光交流施策に移住施策を加え、石川町を「私のふるさと石川町」「第2のふるさと」と言える施策の構築について</p>	町 長 企画商工課長



令和 4 年 第 5 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 8 番

令和 4 年 1 1 月 2 4 日 午前 11 時 37 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 4 年 1 1 月 2 4 日

質問者 6 番議員 小木 芳郎

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 消防団組織等のあり方について	<p>町民の生命と財産を守るため、消防・防災対策の充実を図る事は重要である。</p> <p>特に、住民の生命と財産を守り、予防消防の啓発活動等を行う、消防団員の存在は大変重要である。</p> <p>そこで、消防団組織のあり方について伺う。</p> <p>(1) 本町消防団組織の現状と課題について</p> <p>(2) 老朽化する消防施設の現状及び今後の整備計画について</p> <p>(3) 全国的に消防団の処遇改善が問題視される中、近隣の市区町村の処遇内容及び本町における今後の処遇等の考えについて</p>	町長 防災環境課長
2. 自主防災組織のあり方について	<p>近年、自然災害の脅威が増す中、地域の住民同士が連携し、お互いを助け合い、身を守るための行動が重要視されている。</p> <p>そこで、本町における自主防災組織のあり方について伺う。</p> <p>(1) 町内の自主防災組織の結成状況及び今後の見通しについて</p> <p>(2) 自主防災組織が安心して活動を行うための、負傷や損害が生じた場合の補償内容について</p> <p>(3) 自主防災組織リーダーの人材育成内容について</p>	町長 防災環境課長



令和 4 年第 5 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 9 番

令和 4 年 1 1 月 2 4 日 午前 11 時 45 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 4 年 1 1 月 2 4 日

質問者 11 番議員 関根 信次

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 塩田町政 2 期目の重点課題について	<p>塩田町長は 2 期目の町政運営にあたり、最重点課題は人口減少対策だと言っている。</p> <p>この重点課題解決にあたり、1 期目に蒔いた政策の種を 2 期目に開花させるため、何が必要で、特に大切だと考えていることは何か。</p> <p>次の点について伺う。</p> <p>(1) 本町における人口減少問題で、町長が考える主な要因について</p> <p>(2) 令和 5 年度当初予算編成において、人口減少対策に係る予算の計上について</p> <p>(3) 人口減少に歯止めをかけるうえで、雇用の場の確保を図るための企業誘致の促進について</p> <p>(4) 町内での、新たな工業団地の開発可能性について</p>	町長 総務課長 企画商工課長
2. 農業の振興について	<p>コロナ禍が継続する中で、各種産業を取り巻く環境は大きく変化した。特に、農業については、米価下落や肥料価格高騰などの課題を抱えている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 米価が低迷している中、稲作農家の経営安定に向けた取組みについて</p> <p>(2) 町独自の肥料高騰対策について</p>	町長 農政課長